# リーンコンストラクションメソッドによる駅のリニューアル

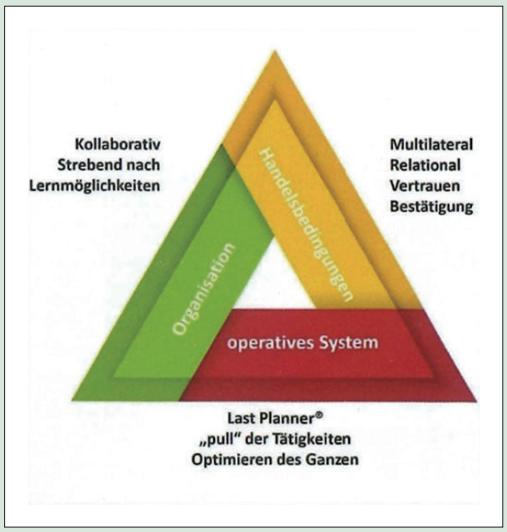
原題：*Erneuerung des Bahnhofs Rastatt mit der Lean Construction Methode*

●著者・所属：Oliver Riechel；DB Station&Service AG、建設技術担当、ドイツ
●誌名：Der Eisenbahningenieur　Vol.72　No.7（2021-7）　pp.12-15
●言語：独語

ドイツのランシュタット駅は 19 世紀の状態であり、リニューアルとバリアフリー化が必要であった。この駅は路線網のインフラに対応するため過去に多くの点で拡張された。そのため、ランシュタット駅はバーデン・ビュルテンベルク州およびランシュタット地域の拠点駅になった。全部で４本のプラットホームがあり、ローカル列車や長距離列車が発着する。このような多くの状況がランシュタット駅のリニューアルを大規模かつ挑戦的なものにした。建設段階におけるリーンコンストラクションメソッドの利用は、列車の継続的な運行の下に、透明性があり、かつ順調な工事工程を保証するための一つの方法である。

エレベータと階段を備えた新しい跨線橋の予想図（原典：Mailänder Consult GmbH）

出典　Der Eisenbahningenieur




Last Planner システム（原典：Place Strategy GmbH）

出典　Der Eisenbahningenieur